

みやけチャレンジゴルフ をしよう！

「みやけチャレンジゴルフ」は、グラウンドゴルフ・ゲートボール・ゲートゴルフなどの要素を混ぜ込み、三宅町スポーツ推進委員（当時は体育指導委員）の皆さんでアレンジされたニュースポーツです。

スポーツとしてはもとより、自治会の集会や団体のレクリエーションなどコミュニケーションの場でも楽しくプレイできます。

気軽に始められますが、テクニックの上達など奥が深い種目です。また、プレイする人のレベルや場所の条件などによって、コースの距離や障害物の種類を変化できます。それぞれ工夫をこらして、楽しいコースを作ってみてください。さあ、みなさんでプレイしてみましょう。

用具

- グラウンドゴルフの用具（クラブ、ボール、スタートマット、マーカー）
- ホール（グラウンドゴルフホールポスト×2台、ゲートゴルフホール×2台、マウンテンホール×2台、ドリームホール×2台）
- 旗（グラウンドゴルフのものを利用します）



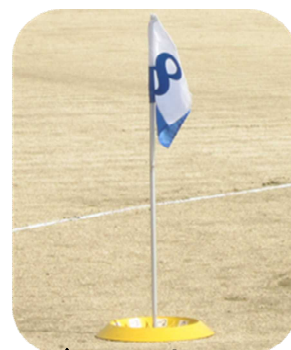
グラウンドゴルフホール



ゲートゴルフホール



マウンテンホール



ドリームホール

- ゲートボールのゲート
- スロープ



プレイ場所

広場ならどこでもプレイ可能。場所の条件や参加者の条件に応じてコースの難易度や距離を設定してもよい。

ゲームの進め方

- 1 グループの構成は、6名以内とする。
- 最初に打順を決め（年齢順、ジャンケンなど）、スタート地点から始める。
2打目以後も打順に従ってプレイを続ける。
- 2ホール以後の打順は、ローテーションする。（第1ホールで2番目の人から打つ）
- 同伴競技者全員が「ホールイン」したら、そのホールのゲームが終了する。打数を確認しあい、スコアカードに記入し、次のホールに進む。
- 全ホール（1周か2周どちらでもよい）を回り、合計打数の少ない者の勝ちとする。

ルール

ペナルティ

- 空振りは打数に数えない。
- 1打で2度クラブにボールが当たった場合は、2打と数える。
- 第1ホールではボールが完全にゲートを通過しなければならない。ゲートを通過できなかった場合は1打罰とし、もう一度初めから第3打目で始める。それでもゲートを通過できなかった場合は、特設ティーのライン上から第5打目で始める。
- 第1、5、8ホールで境界線を越えたときはOB（1打罰）とし、越えたライン上よりプレイを再開する。
- その他、コースに応じて特設ルールを設けることができる。

その他

- 競技者の球が同伴者の球に当たった場合は、球の止まったところから競技を続ける。当てられた同伴者の球は元の場所に戻す。
- ホールインワンの場合のマイナス3打はない。
- プレイ中に同伴者のボールが邪魔で打てないときは、マークを目印にして一時的に取り除くことができる。
- 第5ホールでは、必ずゲートを通過しなければならない。（どちらから通過しても良い）
- 第4、8ホールはドリームホールで、ボールの止まった得点を打数から引く。
- 各ホールの最高打数は10打とし、その時点でそのホールのゲームは終了とする。

コースの特徴

ホール No.	ホールの種類	特 徴
1	グラウンドゴルフ	ドッグレッグコース(OB有り) ・ゲート(ティーから3m地点) ・特設ティー(ゲートより2m地点)
2	マウンテンホール	ミドルコース
3	ゲートゴルフホール	ショートコース
4	ドリームホール	ミドルコース
5	グラウンドゴルフ	ドッグレッグコース(OB有り) ・ゲート(ホール手前3m地点)
6	マウンテンホール	ミドルコース
7	ゲートゴルフホール	ショートコース
8	ドリームホール	ドッグレッグコース(OB有り) ・山越えスロープ(コース中間)

みやけチャレンジゴルフコース

